

IV. 業績の見通し

通期の業績につきまして、平成27年7月30日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、販売電力量は、節電のご協力をいただいた影響に加え、業務用での契約電力の減少や産業用での生産減など至近の動向を反映したことから、前回業績予想に比べ12億kWh程度減少し、289億kWh程度となる見通しであります。

売上高は、販売電力量の減少などにより、前回業績予想に比べ240億円程度減少し、7,320億円程度となる見通しであります。

一方、損益につきましては、高稼働を続ける火力発電所に計画外停止などが発生しているため、今後の稼働状況を見極めていく必要があります。状況変化に応じた供給面ならびに費用面での対策も予想されることなどから、引き続き未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、今年度末までの泊発電所の発電再開は厳しい状況にありますが、供給設備の安定運用に万全を期し、安定供給確保に向け全力で取り組んでまいります。

期末配当につきましては、業績を見通すことができないことから、普通株式および優先株式ともに引き続き未定とさせていただきます。

○ 連結業績見通し

28年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	732,000	△24,000	39,000
(対前期増減率)	(△2.9%程度)		
販売電力量	289億kWh程度	△12億kWh程度	△9億kWh程度

○ 単独業績見通し

28年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	703,000	△25,000	39,000

※ 対前回増減は、平成27年7月30日に公表した業績予想との差を記載しております。

※ 通期の為替レートは121円/\$程度(10月以降120円/\$程度)、原油CIF価格は57\$/b1程度(10月以降55\$/b1程度)として想定しております。